



パソコンスキルを生かした データ活用業務で貢献

菅野 真帆 Shiho Kanno

国税実査官

平成24年採用

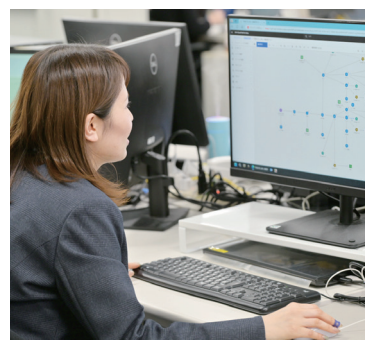
課税第一部 課税総括課 データ活用担当

Q. 現在の仕事内容は？ やりがいを感じるときは？

提出された申告書や調査等で収集した情報（データベース）を活用し、調査企画のためのデータ資料の作成や傾向分析、予測モデルの構築等を実施しています。また、課税総括課の業務で使用しているシステムについて、関係課室と調整しながらデータのメンテナンスを行うことも仕事の一つです。

ひと口にデータ活用といっても、データマッチングや機械学習、システムの構築など多岐にわたり、データの加工や分析に使用するツールも複数あるため、業務の内容に応じて最適な手法を選択し、使いこなすための高いスキルが必要になります。

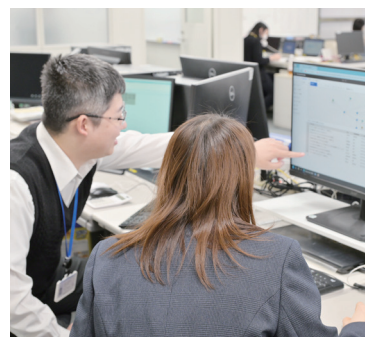
私が携わったシステム等が実際に調査事務等で活用され、成果が出ているのを見たときはとてもうれしく思い、やりがいを感じます。



Q. 働いて感じた国税職員の魅力は？

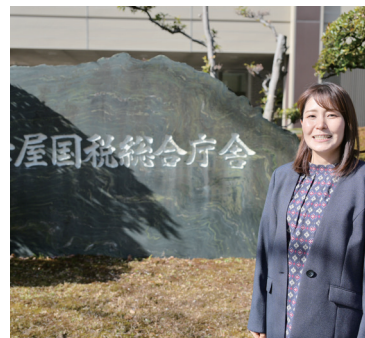
国家公務員の中でも専門性の高い職種であることと、それに伴い研修制度が充実していることが挙げられます。私が担当しているデータ活用業務に関する研修はもちろん、税法に特化した専攻科研修や、国内外の税法に関する国際科研修など、さまざまな研修機会が与えられ、自身のスキルアップを図ることができます。

国税局のデータ活用担当には、税務署で調査事務や総務事務を経験したのち、配属されました。初めは手探りでしたが、上司や先輩に相談したり、研修にも積極的に参加したりすることで、データ活用のスキルが向上しました。初めて自分の力でシステム構築をやり遂げたときの達成感は今も忘れられません。



Q. 今後の目標は？

なるべく多くのデータ分析に関するスキルや知識を習得し、さまざまな業務に対応できるよう努めたいです。そして、データ活用が業務の効率化・高度化につながる手法として、広く認知されるよう邁進していきたいと思っています。



メッセージ Message

データ活用は、税務行政におけるDXの礎となるポジションです。国税の仕事は調査や徴収の印象が強いですが、それらを陰で支えているのがデータ活用といっても過言ではありません。「デジタル技術やデータ分析に興味がある」「パソコンスキルや統計知識で税務行政に貢献したい」と思う方と共に働ける日を楽しみにしています。